

実火災体験型訓練を実施



近年の住宅事情を考慮した高気密高断熱住宅火災に対応するため、8月初旬に大阪府立消防学校の施設を利用し、火災現場活動における技術の向上及び人材育成を目的とした実火災体験型訓練を実施。

訓練では、高気密高断熱住宅の特徴である中性帯形成・ロールオーバー等の様々な現象及び熱気について体験し、対面注水等の危険性を認識するための放水訓練を行い、吹き返し等による受傷危険についても体験し、有意義な訓練内容であった。